

避難のときの心得



安全な避難経路の確認

避難所までの経路は、あらかじめ決めておきましょう。



非常持出品の事前準備

避難するときの荷物は最低限にし、事前に準備しておきましょう。



正確な情報収集と自主避難

テレビ・ラジオなどで最新の気象情報を確認しましょう。危険を感じたら自主的に避難しましょう。



動きやすい格好、2人以上での避難

避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での行動を心がけましょう。



車での避難は控える

自動車での避難は、緊急車両の通行の妨げになります。



車を放置しない

道路や堤防に自動車を放置すると、活動の妨げになります。

活用してください。

伯耆町では地震防災マップと洪水ハザードマップを作成しています。集落の自主防災活動などにご活用ください。

○地震防災マップ

大地震を生き延びる方法や家の耐震対策、地域の揺れやすさマップなどを掲載したものの。(平成22年7月に全戸配布しています。)非常持出品や地震豆知識なども掲載されており、日ごろの防災活動に活用できます。



○伯耆町洪水ハザードマップ

100年に1回程度起こると言われる大雨(2日間総雨量308mm)によって日野川が氾濫した場合に、浸水が想定される範囲と、鳥取県指定の土砂災害警戒区域を示したものです。



伯耆町防災の日

伯耆町区長協議会では、「大切な生命・家族・財産を守るため」に避難訓練を実施します。訓練実施の有無や内容は、集落によって異なりますが、実施される集落にお住まいの方は、ぜひご参加ください。

とき 9月25日(日) 8:00~
※当日の午前8時に、訓練用のサイレンがなります。
ところ 各集落による

訓練想定
鳥取県西部を震源とする地震発生。
伯耆町は震度6強を記録。

今年の取組
①安全な避難場所を確認。
②避難所までのルート、各自が確認。
③避難するときは近所の人と声をかけあって。



避難訓練後、消火訓練を行う様子
(平成22年度伯耆町防災の日)

【問い合わせ先】防災について 総務課 ☎68-3111
伯耆町防災の日について 企画課 町づくり推進室 ☎68-3113



災害は、忘れる間もなくやってくる

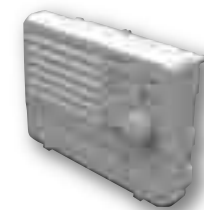
昔から「災害は忘れたころにやってくる」と言われますが、近年は「忘れる間もなく」やってきます。新潟県中越地震・能登半島地震・そして東日本大震災と、大きな地震がここ数年の間に、多く発生しています。また地震だけでなく、台風やゲリラ豪雨・豪雪

なども数多く発生しています。災害が発生した時、被害を最小限におさえるには、一人ひとりが慌てず、適切な行動をとることが重要です。いざという時に落ち着いて行動できるように、日頃から正しい心構えを身に付けておきましょう。

伯耆町防災の取組

1 防災行政無線の整備

旧町単位で異なっていた、放送設備を統一しました。役場からのお知らせ、火災情報だけでなく、災害情報や、避難勧告・指示の放送を行います。



2 災害時要援護者台帳・マップの作成

自力で避難することが難しい方の情報を管理し、災害時に活用します。現在、区長さんの協力のもと作成中です。

3 災害対応型自動販売機の設置

上水道施設が被害を受けたときに、無料で飲料水を提供します。町内に10か所設置しています。



4 水・食糧の備蓄

町内に2か所倉庫を設け、災害時に必要な食料や水、生活用品を備蓄しています。また、溝口小学校敷地内に飲用可能貯水槽(80m³)を設置しています。

その他にも企業などと災害協定を締結し、災害に備えています。